

	北波多小学校 学校だより10号	北波多小だより	令和5年6月22日発行 文責 校長 川原 悟
---	--------------------	------------------	---------------------------

北波多学校人権・同和教育研究会総会

14日(水)に人権ふれあいセンター北波多にて、北波多学校人権・同和教育研究会総会を開催しました。この研究会は、北波多地区の保育所(保育園)や小中学校における人権・同和教育の研究とその推進を図ることを目的としています。

総会では、寺田健二さん(元 唐津市生涯学習文化財課社会・同和教育指導員)に『ただひとつの願い〜この世に生まれてきたことをみんながしあわせに思えること〜』という演題で講演をしていただきました。寺田さんは、これまで取り組んでこられたことや大切にされていることの思いについて話をされました。寺田さんの話を聞く中で、「知識」だけでなく、「意識」を変え、行動に移していく大切さを改めて感じたところでした。職員一同、児童と真摯に向き合うことや日々の言動にもアンテナを高く張っておくことを再確認できました。

子供主体となる児童集会

20日(火)の朝の時間、児童集会を開きました。集会委員会の子供たちが中心となって準備をしていて、とても楽しい児童集会を行うことができました。北波多小学校へ赴任した新しい先生たちについてクイズで紹介し、子供たちもいきいきとした表情で参加していました。



集会委員会の事前準備、当日の司会進行と子供たちが主体となって進めたことで、充実した集会になりました。また、集会委員会が自分たちの振り返りを行う中では、うまくできたことや友だちの頑張りを褒める発言もあり、今後の活動へつながる取組ができていると実感することができました。

本に親しむ「かたつむり祭り」

6月13日(火)〜23日(金)の期間、「かたつむり祭り」が開かれています。雨の日が多くなる梅雨時期に読書に親しむことを目的として実施しています。休み時間になると、多くの子供たちが図書館に通い、本に親しんでいることがうかがえます。また、昼休みには、図書委員会によるゲームも定期的に行われ、子供たちが主体となって楽しい活動を計画し、行っています。



読書は、知識を増やしたり、疑似体験できたりする良さがあります。また、物語や小説を読み進めていくうちに、いつの間にかその世界に入り込んでしまっているというように、想像力を働かせる良さもあります。この取組をきっかけに、少しでも本を好きになる子供たちが増えたら嬉しいです。